

5 子どもと女性にやさしいまちづくり



「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて、 3つのゼロにオールとしまで取り組む！

「児童虐待ゼロ」「支援の届かない子ども・若者・家庭ゼロ」「子育てへの不安ゼロ」の「3つのゼロ」に“オールとしま”で取り組むことで、SDGsの掲げる持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指します！

子どもと家庭の安全・安心を守るため 児童相談所 を開設します

■「児童虐待ゼロ」に向け、新たな拠点を整備！



▲児童相談所外観（イメージ）

～母子保健の専門機関である長崎健康相談所を併設～



▲エントランス（イメージ）



▲児童相談所内観（イメージ）

【施設概要】

場 所：長崎三丁目6番24号（旧 長崎健康相談所跡地）
延床面積：約3,200㎡
建物構造：RC（鉄筋コンクリート造）
階 数：地上3階、地下1階
整備施設：児童相談所、長崎健康相談所、
池袋消防団第五分団関係施設

3 F	児童相談所
2 F	児童相談所
1 F	長崎健康相談所、消防団施設
B 1 F	長崎健康相談所

■令和5年2月開設！

～新たな子ども・子育ての相談拠点～

- 長年、地域で親しまれてきた長崎健康相談所を併設することで、母子保健部局との連携をさらに強化し、妊娠・出産から子育てに至るまでの相談拠点として、切れ目ない支援の充実を図ります。
- また、子育て・健康に関するイベントの実施や交流スペースの活用により、新たなコミュニティを生み出すことで、地域に賑わいと豊かさをもたらし、さらにまちの価値を高めます。
- 加えて、地域防災の中核的な役割を担う消防団施設を併設し、地域の安全・安心を総合的に守ります。

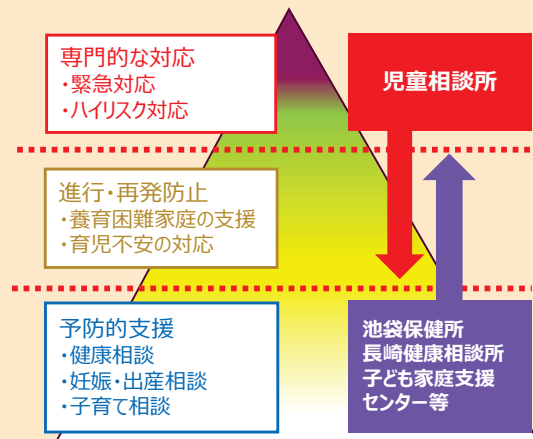
▼子育て・健康に関するイベント（イメージ）





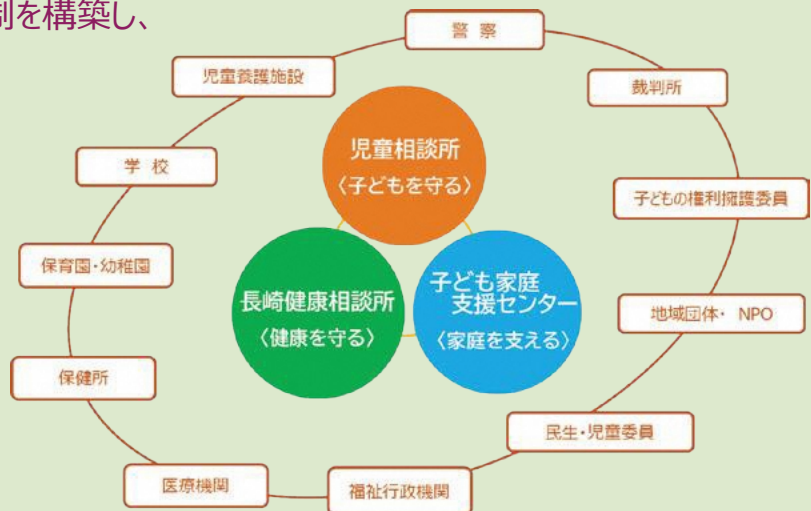
■ 専門職による一貫した支援と子どもの権利を保障する取組を進めます！

- 専門機関である児童相談所と身近な相談機関である子ども家庭支援センターが区の児童相談行政の両輪となり、関係機関と連携を図るなかで、身近な相談からハイリスクな相談までを専門職が一貫して支援します。
- 様々な要因から本来の家庭環境で生活することが困難となった子どもたちが夢や希望を抱き、安心して健やかに成長できるよう、一人ひとりに寄り添った支援を行うことで、子どもの最善の利益を保障します。



■ “オールとしま”による児童相談体制を構築し、子どもを虐待から守ります！

- 増加しつづける児童虐待等の相談に対して、児童相談所と子ども家庭支援センターに母子保健の専門機関である長崎健康相談所を加えた三機関が核となり、それぞれの専門性を活かした迅速かつ適切な対応を行います。
- 関係機関との連携と地域のネットワークを活用した“オールとしま”による児童相談支援体制を確立し、虐待の疑いのある子どもとその家庭の早期発見、早期対応により、「児童虐待ゼロ」を目指していきます。



「としまオレンジリボンフェスタ」を開催します

児童相談所設置の年に、“オールとしま”で児童虐待防止に向けた決意を示す！

児童相談所の開設と、区制90周年を記念し、「としまオレンジリボンフェスタ」を開催します。

児童虐待防止推進月間である11月を中心に、「児童虐待防止区民大会」や、「としま文化の日」関連事業とのタイアップなどにより、幅広い年代への情報発信を行います。

これら全体を「としまオレンジリボンフェスタ」として位置付け、“オールとしま”で児童虐待防止に取り組む決意を区内外に示していきます。



街頭キャンペーン



オレンジリボンは児童虐待防止運動のシンボルマークです



区民大会（イメージ）

子どもと女性にやさしいまちづくり

「支援の届かない子ども・若者・家庭ゼロ」に向けて

■すずらんスマイルプロジェクト ～なんとなく生きづらいをたしかな支援に～



女性が入りやすいカフェで出張相談会を実施 ▶

- 「若年女性つながりサポート事業」では、女性が抱える生きづらさについて、専門の相談員が対応する出張相談会を実施します。
- 子ども若者総合相談「アシスとしま」では、相談体制の強化を行うほか、「LINE」を活用した相談案内等の仕組みを構築します。



■としま子ども若者応援プロジェクト ～“オールとしま”で支援！～

- 皆様からいただいた寄附金を困難を抱えた子ども・若者や子育て家庭への支援事業に活用するほか、企業や団体等からのコト・モノ支援を実施しています。
- 2022年度は、寄附金を活用した地域団体等への助成事業を新たに実施するなど、地域全体で子ども・若者や子育て家庭を支えています。

令和3年度寄附実績
(令和4年1月20日現在)

件数：48件
総額：19,893,057円



保育・子育てサービスの充実により「子育てへの不安ゼロ」を目指して

■子どもたちが安心して伸び伸びと成長していける、豊島区の保育を目指します！

- 新たな保育園の誘致エリアの重点化を図り、緊急1歳児受入事業等を積極的に展開することで、待機児童ゼロを維持します。
- コロナ禍でも仕事を休むことが困難な方が、ベビーシッターを利用した際にかかる利用料及び交通費の一部を助成します。



開設準備の整った新規保育園の様子

■全ての家庭が安心して子育てできる環境を整えます！



子育て訪問相談事業

- ひとり親家庭や、コロナ禍において親族の援助が得られない家庭など、支援を必要とする家庭が増えています。
- ヘルパー派遣事業や、ベビーシッター利用助成（一時預かり）、相談事業などの充実により、全ての家庭が安心して子育てできる環境を整えます。

子どもと女性にやさしいまちづくり

池袋第一小学校が「森の中の学校」に ～みんなの思いが詰まった学校づくり～

「森の中の学校」をコンセプトとした、池袋第一小学校が令和4年8月に竣工する予定です。

区内の小学校では初となる5階建ての校舎です。

最新の学習環境をはじめ、自然と触れ合える環境や防災整備を充実させ、地域のシンボルとなる学校を目指します。



池袋第一小学校完成予想図（南側外観）

ICT教育の推進 ～いつでも、どこでも学ぶことができる 環境で子供の学びを保障～



ペイント機能で自分の発想を表現



学校や家庭で学習道具として活用し、個別最適化された学びを保障

児童生徒一人1台のタブレットパソコンを学習道具として、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために授業改善を進めています。

子どもたち一人ひとりの個性や創造性が輝く「新しい学びのスタイル」を構築し、自分らしく成長できる「としまの教育」を目指していきます。

旧平和小学校跡地への複合施設整備 ～計画的な学校改築を進めます～

旧平和小学校の跡地に、西部区民事務所等と学校改築時に必要な仮校舎が入る新たな複合施設を令和5年度までに整備します。

新たに整備する仮校舎を活かしながら、豊島区学校施設等長寿命化計画に基づいて、区西部地域の学校改築を順次、進めていく予定です。

また、仮校舎を使用する児童・生徒や、地域の方々から親しまれる施設とするため、施設の愛称を近隣の小中学校から募集するとともに、周辺の公園や神社の緑とのつながりのある、緑のネットワークの拠点となるような施設を目指します。